

工事成績採点の審査項目別運用表

[記入方法] 該当欄が□の項目は評価該当項目として1を入れることを原則とし、○の項目は該当する場合に1を入れ評価するものとする。

(電気・検査員用)

審査項目	細別	a					d		e	
		特に優れている。	優れている。	特に良好である。	良好である。	適切である。	やや不適切である。		不適切である。	
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 電気設備工事 受変電設備工事	該当	評価	「評価対象項目」			評価	品質の管理に関して、工事監督員が文書で指示を行い改善された。	評価	品質が不適切であったため、工事請負契約約款第31条に基づく修補指示を検査員が行った。
				<input type="checkbox"/> 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。			上記該当事項があれば …… d	<input type="checkbox"/>	上記該当事項があれば …… e	
				<input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。						
				<input type="checkbox"/> 機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。						
				<input type="checkbox"/> 品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる。						
				<input type="checkbox"/> 施工の品質が、適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。						
				<input type="checkbox"/> 施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。						
				<input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。						
				<input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。						
				<input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。						
				<input type="checkbox"/> 中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。						
				<input type="checkbox"/> 運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。						
				<input type="checkbox"/> その他 (理由 :)						
				該当項目の内達成項目が90%以上…………… a 該当項目の内達成項目が80%以上～90%未満…………… a' 該当項目の内達成項目が70%以上～80%未満…………… b 該当項目の内達成項目が60%以上～70%未満…………… b' 該当項目の内達成項目が50%以上～60%未満…………… c 該当項目の内達成項目が50%未満…………… d						
				評価率		※評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。				
		評定								
		点数								

※1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※2. 品質の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

様式-4A②-3 (機械用)

工事成績採点の審査項目別運用表

[記入方法] 該当欄が□の項目は評価該当項目として1を入れることを原則とし、○の項目は該当する場合に1を入れ評価するものとする。

(機械・検査員用)

審査項目	細別	a		a'	b	b'	c	d		e
		特に優れている。	特に優れている。	優れている。	特に良好である。	良好である。	適切である。	やや不適切である。		不適切である。
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 暖冷房衛生備工事 機械設備工事	該当	評価	「評価対象項目」				評価	評価	
				<input type="checkbox"/> 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。				<input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、工事監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当事項があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 品質が不適切であったため、工事請負契約約款第31条に基づく修補指示を検査員が行った。 上記該当事項があれば・・・e	
				<input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。						
				<input type="checkbox"/> 機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。						
				<input type="checkbox"/> 品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる。						
				<input type="checkbox"/> 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。						
				<input type="checkbox"/> 施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。						
				<input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。						
				<input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。						
				<input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。						
				<input type="checkbox"/> 中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。						
				<input type="checkbox"/> 運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。						
				<input type="checkbox"/> その他（理由： ）						
				該当項目の内達成項目が90%以上・・・a 該当項目の内達成項目が80%以上～90%未満・・・a' 該当項目の内達成項目が70%以上～80%未満・・・b 該当項目の内達成項目が60%以上～70%未満・・・b' 該当項目の内達成項目が50%以上～60%未満・・・c 該当項目の内達成項目が50%未満・・・d ※評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。						
		評価率								
		評定								
		点数								

※1. 機械設備工事とは、エレベーター、エスカレーター設備工事等の建設業法における機械器具設置工事をいう。

※2. 目的物の品質の水準を評価すること。

※3. 品質の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの（システムを含む）」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

